

カネの
力でなく

市民の**声**で動く政治を

あなたの声を政策に生かします

アンケートにも
取り組んでいます

ご協力をお願いします



Web からも回答できます
こちらからアクセスしてください

スーパーを回って黄色い
値下げシールを探しています

次々と値上げで
財布も心も余裕がない

生活を切り詰める
のももう限界

フットワーク軽く

駆けつけて

小さい要望まで

聞いて

市にも国・県にも

届けます

令和の米騒動

「何でも値上がりで困っている」…みんなの思いです。特に、「米が高くて買えない」…その原因は、行き過ぎた減反による米不足。EU並みに農家には価格保障・所得補償、消費者には安定価格・安定供給を。食料に責任を果たす政治が必要です。

「変わらないと思ったけれども…」

市民の声が政治を動かしはじめている

今、市民の声が、政治を動かしはじめています。

昨年の総選挙では、ウラ金への怒りで与党が少数に転落。直近では、命に関わる「高額療養費」負担増計画も、がん患者団体などの声が広がって「凍結」に。

この流れをもっと広げていきましょう。

いしじま 巖

石嶋いわお

1954 年下館市大谷に生まれる。結城一高卒。いばらきコープに就職。現在、食味値80を目指し米づくり10年目。趣味／映画鑑賞、読書、カヌー、山歩き。前筑西市議会議員

困っている人がいると 黙ってられない性分

石嶋いわおは、少年時代から明るく朗らか、そして豊富な知識が定評でした。生協勤務のときには、消費者からのクレームにすぐ駆けつけてじっくり聞き取り、フットワークと聞く力を鍛えました。また、困っている人がいると黙ってられない性分で、東日本大震災では志願して宮城県に1週間入り、常総の大水害では2ヶ月以上にわたって毎週出かけ、被災者の支援にあたりました。

日本共産党の議員はがんばります

監視役

お金で動く政治にはキッパリ。腐れ縁がないから、どんな権力にもハッキリものが言えます。

生活者本位

大型開発より「市民のくらしを一番」に。地に足がついたまちづくりで、若者にも魅力あるまちづくりを。

一致点で共同

市民のためになることは、立場を越えて力を合わせ実現をはかります。

見える化

議会ごとに議会報告を発行。市民目線で市政の動きもありのままお知らせします。

「いけない」ことにはハッキリNO!

国保税や介護保険料、医療費の引き上げ。そのウラでは、アメリカとの約束で高額な武器購入など防衛費は5年間に43兆円への急増ぶり。国は地方に集約化と大手への民間委託を推進。地方はやせ細ります。国言いなりにダメなものはダメ。市民のくらしと営業を守ります。

党派を超えて実現へ

命・健康 子ども 食料

石嶋いわおは提案型で取り組みます

物価高騰から くらし・営業を守る

- プレミアム商品券の全世帯への給付
- 水道料金の減免
- 農商工、福祉施設の燃料、電気料の支援

ひとりで
悩まず

なんでも相談窓口・伴走型の支援

相談内容の複雑化に、窓口のワンストップ化、さらに官民連携（プラットフォーム）の伴走型支援態勢をつくる



輝け
子どもたち

オーガニック給食と地域経済

- 学校給食の無償化を継続
- オーガニック給食で安全・安心な食材提供
- 有機食材を通じて高付加価値化、販路拡大
- 農商工の連携を促進し地域経済の循環を拡大

「無料パス」で高齢者の交通支援

免許返納後の「生活の質」を維持するため、外出支援は不可欠。真岡市のように免許返納者に無期限・無料の乗車券（バスとデマンドタクシー）を発行



安心を
つくります

みなさんの声を届けて 実現しました

日本共産党

- ☆ 学校給食の完全無償化
- ☆ 18歳までの医療費無料化
- ☆ 産業振興条例の制定
- ☆ 無料の簡易PCR検査の実施
- ☆ 高齢者の補聴器購入補助と対象者拡大
- ☆ エアコンがない世帯への購入補助

1 → 2 で「議案提案権」

市民の要望を議員から議会に提出できる議案提案権は、2議席以上で使えます。市民の声を市政に届ける大きな力になります。